

新しい地方経済・生活環境創生交付金等活用事業の効果検証について

1. 第2世代交付金①

事業名	観光を軸とした持続可能な地域づくり推進事業【R5～R7年度】						
事業内容	《事業の全体像》 本市の観光資源を形成する森林環境、山村景観、文化的景観の保全と活用を両立させ、持続可能な地域づくりにつなげるため、植林や育林事業に係る森林体験コンテンツを開発し、観光客による森林保全を推進するとともに、耕作放棄地を活用した空間づくりや体験コンテンツ化を行う。また、国内外で人気の高い梅酒をテーマとしたツーリズムを造成し、誘客及び外貨獲得を図る。 さらに、これらの取組と併せて、ショートムービーの制作配信により各事業のプロモーション力を高め、ダイヤモンドイヤーを活かした本市の認知度向上と誘客促進に積極的に取り組むことで、本事業の将来的な自立を目指す。 総事業費 83,797千円（R5：27,494千円 R6：32,714千円 R7：23,589千円） 《R7年度事業内容》 ●サステナブルツーリズム推進事業（委託料 5,000,000円） 市内企業等と連携し、植林や育林事業に係る観光コンテンツの開発を行うことで、観光客による森林保全の推進と観光消費による外貨獲得を両立させ、雇用創出や林業振興、ひいては移住定住の促進にもつなげる。併せて、森の公益的機能や本市の山村景観の魅力を伝える人材を育成し、観光客への発信だけでなく、学校教育とも連携した取組を展開することで、子供たちのシビックプライドを育み、地域産業の将来を担う土壌をつくる。 ●梅酒ツーリズム推進事業（負担金 18,588,998円） 本市の主要産業である梅産業の中でも、国内外で人気が高く、観光の切り口ともなりうる梅酒をテーマとしたツーリズムを造成し、国内外からの誘客及び消費拡大を図り、梅産業の振興につなげる。1年目はコンテンツ開発などの地盤づくりを行い、2年目以降は拡大とブランディングに取り組む。 《参考（R7実績額）》 事業費 23,588,998円（うち交付金充当額 8,821,461円）	本事業における重要業績評価指標(KPI)					
		指標	区分	(基準値) R4	R5	R6	R7
		①観光客入込客数	目標値	2,584,685人	3,184,685人	4,384,685人	4,684,685人
			実績値		3,008,020人	3,208,026人	3,377,948人
		②森林体験コンテンツの販売数（参加人数）	目標値	0人	0人	20人	50人
			実績値		0人	351人	414人
		③梅酒ツーリズム商品の販売数（参加人数）	目標値	0人	0人	100人	250人
			実績値		0人	367人	2,241人
		④耕作放棄地及び植栽放棄地の活用件数	目標値	0件	3件	8件	13件
			実績値		2件	7件	6件
事業効果の検証及び改善方策等							
・①観光客入込客数は年々増加傾向にあるものの、国内観光客については伸び悩みが見られ、目標値を達成できなかった。今後は、熊野古道以外の国内観光客向けコンテンツをさらに充実させていくことが重要。 ・②森林体験コンテンツは開発が順調に進み、小学生向けの森林環境学習ツアーの実施数が増加したことで、目標値を大きく上回った。教育委員会との連携も増加につながっているものと考えられる。 ・③梅酒ツーリズム商品の販売数は、当初は季節・期間限定の梅酒テラスを予定していたが、常設店舗を設けたことにより目標値を大きく上回った。当該店舗は紀伊田辺駅前の中心市街地エリアに位置しており、今後も周遊・滞在型観光に大きく寄与するものと考えられる。 ・④耕作放棄地及び植栽放棄地の活用件数は、森林環境学習ツアー等における植栽放棄地等での植樹体験を想定していたが、新たな森林体験コンテンツの増加に伴い、植樹以外の体験を希望するケースが増加し、目標値を達成できなかった。今後は、関係人口創出に資するツアー等での活用も検討していく。							

第2世代交付金②

事業名	地域の魅力発信から未来へつなげる若者交流創出プロジェクト【R7～R9年度】							
事業内容	《事業の全体像》 大学生のフィールドワークを誘致するとともに、ヒト・コトにフォーカスしたプロモーションを展開し、大学生や地方に関心のある都市圏等の若者と市民との交流を創出し、関係人口の創出・拡大につなげる。また、市内の高校生などの若年層も関わることで、相互の地域理解を深め、市内若年層の地元回帰向上も図る。 総事業費 51,471千円（R7：34,071千円 R8：7,400千円 R9：10,000千円） 《R7年度事業内容》 ●<u>域学連携推進事業（委託料 4,500,000円）</u> 大学のニーズ等を把握した上で、地域資源や地域課題をテーマに学生自らが体験や調査、提案を行うフィールドワークのプランを考案し、大学に提案する。またフィールドワークを行う大学に対しては、地域との調整や現地サポート等を行う。 ●<u>関係人口創出に関する業務（委託料 4,771,000円）</u> 首都圏や近畿圏在住者、本市にゆかりのある方で20～40代のローカル志向層をターゲットとした関係人口創出事業を実施し、これまでカバーできていなかった層に対し、関係人口創出に係る講座を実施する。なお、試験的に、地域の若年層や二地域居住などの相互理解を図ることのできる機会も組み込む。 ●<u>地域の魅力発信に係る事業（広告費・委託料 24,800,000円）</u> 本市と包括連携協定を締結している大手メディアと協働し、市政20周年や世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」登録10周年等の大きな節目を生かした首都圏におけるPRイベント、メディアを活用した取組等を実施する。 《参考（R7実績額）》 事業費 34,071,000円（うち交付金充当額 17,035,500円）	本事業における重要業績評価指標(KPI)						
		指標	区分	(基準値) R5／R6	R7	R8	R9	
		①転出超過数 <u>R9年度に288人</u>	目標値	434人	386人	337人	288人	
			実績値		419人			
		②本事業で開発したフィールドワークプランを通じ、地域、事業者と関わった人数（累計） <u>R9年度に120人</u>	目標値	0人	6人	36人	120人	
			実績値		66人			
		③本市が行う関係人口の施策を通じての地域活動の実践者（累計） <u>R9年度に270件</u>	目標値	0件	56人	136人	270人	
			実績値		114人			
		事業効果の検証及び改善方策等						
		・①転出超過数は基準値に比べ減少しているものの、目標値を達成できなかった。今後も関係人口の創出に努めることで転出超過数の抑制を図る。						
・②フィールドワークプランを通じて地域と関わった人数は目標値を大きく上回った。各大学が求める学習内容やフィールドワークのニーズを丁寧に把握した上でプラン設計を行ったこと、地域の事業者や団体などの協力の下、学生の受入れ体制が構築できたことが、参加者数の増加につながったと考えている。								
・③地域活動の実践者は目標を大きく上回った。本事業の参加者の中には、参加者同士の共創から独自に本市との自主的な関わりを実践している方もあり、また、別途実施している関係人口施策においても、参加者との継続した関係が続いていることが寄与していると考えられる。								

2. 地方創生拠点整備タイプ（デジタル田園都市国家構想交付金）

事業名		スポーツ合宿を核とした交流人口創出事業【R４～R５年度】							
事業内容	《事業概要》 スポーツ合宿の誘致において他地域に対する優位性を高め、新たな利用団体の受入れなど更なるスポーツ合宿の誘致を促進し、スポーツ振興と交流人口の増加、地域経済の活性化を図るため、約30.8ヘクタールの公園内に各種スポーツ施設を有する田辺スポーツパークに、ナショナルチームや各競技のトップクラスのアスリートが十分に満足できる充実したトレーニング機器等を備えたトレーニング施設を整備する。 なお、施設については、スポーツ合宿利用者のトレーニングだけではなく、体力向上や健康維持のため一般市民にも開放する。 また、当地域の温暖な気候や、高速道路の南紀田辺インターチェンジから近いという交通の利便性を生かすとともに、スポーツ・ツーリズム・コーディネーターや南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会とも連携し、陸上競技場での陸上、サッカー、体育館でのバレーボールやバスケットボール、野球場での野球などの競技を中心としたスポーツ合宿を積極的に誘致することで、誘致件数及び利用者数の増加につなげる。 【施設名称】 田辺スポーツパークトレーニングジム 【整備内容】 ナショナルチームや各競技のトップクラスのチームでも対応できるトレーニング施設の整備 木造平家建て 延床面積300㎡ 《参考（R５実績額）》 事業費 136,059,000円（うち交付金充当額 68,029,500円）	本事業における重要業績評価指標(KPI)							
		指標	区分	(基準値) R４	R５	R６	R７	R８	R９
		①スポーツ合宿誘致件数 <u>R９年度に638件</u>	計画値	588件	598件	608件	618件	628件	638件
			実績値		584件	571件	623件		
		②スポーツ合宿利用人数 <u>R９年度に26,950人</u>	計画値	24,450人	24,950人	25,450人	25,950人	26,450人	26,950人
			実績値		35,219人	34,386人	37,373人		
		③トレーニング施設利用者数 <u>R９年度に2,300人</u>	計画値	0人	300人	2,000人	2,100人	2,200人	2,300人
			実績値		630人	3,059人	4,038人		
		事業効果の検証及び改善方策等							
		・全ての指標において目標値を達成した。							
・合宿誘致に係る営業活動を大学、旅行会社を中心に行い、田辺スポーツパーク及びトレーニングジムの開設について認知度の向上が図れていると評価できる。									
・田辺市及び近隣市町村の住民の関心が高く、合宿団体等による利用だけでなく、地元住民の利用が想定よりも多かった。									
・今後も合宿誘致等を積極的に行い、より多くの方に利用してもらうことで、収入確保につなげる。									